

季節は秋へ



仲嶺 真弓

今年も事務室に秋アカネ（赤とんぼ）が迷い込んでくるようになりました。まだ蒸し暑い日が続きますが、少しずつ季節は秋の訪れを感じます。毎年変わらず訪れる日常のちょっとした風景が、ほっこりと心穏やかにさせてくれます。自然の力を身近に感じられる熊取に、保育園があることはとてもありがたいことです。

コロナの現状は、先日もさくら連絡網でお知らせした通り、大阪府内の学校・児童施設関連でもクラスター発生が増え続けるなど、感染力の強いデルタ株への置き換わりにより、子どもの感染リスクが非常に高まっているので、園でも日々子どもたちの体調の変化を、こまめに伝えさせてもらっています。保育園は集団生活の場なので、最善の注意を払っていても、いつクラスターが発生してもおかしくない状況です。そのことを理解していただいたうえで、保育利用をしていただければと思います。感染拡大を避けるためには、みなさんのご協力が必要です。どうぞご理解のほどよろしくお願いします。

園行事については、緊急事態宣言中の懇談会は中止ですが、個人懇談は感染予防対策をして、常時対応しています。子育てで悩むこと、子育てに限らず、少し気持ちが辛いというときは、どうか独りで抱え込まずに職員に声をかけてください。少し気持ちを吐き出すことで、落ち着くこともあるはずですよ。お月見会行事は、集まってすることは取り辞めます。けれど、集まらなくても楽しめる方法があるはずと、お月見会行事担当職員は計画中です。また、お知らせしますのでお楽しみに。

自信や達成感って…

池本 美和

私は幼い頃、よく両親に連れられ山登りや寺社巡り、元旦マラソンなど体を動かす機会がありました。その為か、今も山登りが好きです。登る道中は仲間と共におしゃべりを楽しみ、登り切った気持ちよさを感じています。低山でも十分満足しているのですが、以前関西屈指の山（八経ヶ岳）に挑戦する機会がありました。かなりの急な山道に何度も休憩し、もうここで十分、と途中で思っていたのですが、一緒に登った仲間たちの「あともう少し！」「頂上までいこう」の言葉を聞き、「ここで荷物番しとこうか…。でも…。あと、ほんとにもうちょっと！！」と私の重い体と心が動き、頂上まで到達することができました。行きは5時間強、帰りは4時間程かかりフラフラになっていましたが、登ったというその時の達成感は私の中で宝物です。

さて、9月になり気候も涼しくなってきたので、子どもたちの遊びも水遊びから外遊びへと変わっていきます。外遊びでは、体を動かすことを楽しみ、室内遊びにも通じる事ですが興味のあることに夢中になったり、友だちと一緒に取り組む中で相手のことを思いやったり社会のルールを知ったり…。これらの活動は子どもにとってこれから生きていく力に繋がっていくものです。

また、4、5歳クラスは運動会があります。運動会では何を大切にに取り組むのか毎年4、5歳担任と他のクラスの職員が入った実行委員で話合います。苦手だなと感じる子どもに対してどのように関わり支援していくかも話します。苦手だなと感じている子どもに対して、前述の私が体験したように友だちや周りの人からの言葉を力にかえることもあれば、反対にやらされたと感じてしまうこともあります。人から「こうしなさい」や「こうした方がよい」と言われても結局は自分がどうしたいのか？にたどり着きます。自分自身で考え決めてするから納得したり、こうしたらよかったと振り返ったり、次に向かう力につながります。子どもも大人も同じで、人が感じる「自信や達成感」は、周りの人からの指示や言われて感じるのではなく、自分の中で自分に満足できたときに感じるのだと思います。私たちは大人目線の「できる」「できない」を重視するのではなく、子ども自身の葛藤や自分で決めること、そして子どもが決めたことは否定することなく受け止めていくことを大切に一緒に取り組んでいきたいと思っています。ここでの運動会は今まで経験したことのある運動会とは違うかもしれませんが、保護者の皆さんもぜひそのような目線で子どもたちの運動会を見守り、応援をよろしくお願いします。